

特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

プログラム／抄録

総 会 ・ 評 議 員 会	P.13	—
第17回日本エイズ学会学会賞 (シミック賞) 受賞講演	P.13	—
プレナリーレクチャー	P.14	P.77
会 長 講 演	P.15	P.79
特 別 講 演	P.16	P.80
日本エイズ学会シンポジウム	P.17	P.83
日本性感染症学会と日本エイズ学会 の 合 同 シ ン ポ ジ ウ ム	P.17	P.88
シンポジウム「治療の手引き」	P.18	P.93
シ ン ポ ジ ウ ム	P.19	P.98
ワ ー ク シ ョ ッ プ	P.34	P.206
メ モ リ ア ル サ ー ビ ス	P.34	P.210
日本エイズ学会認定講習会	P.35	—
HIV感染症指導看護師向けアドバンスト研修	P.35	P.211
HIV感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会	P.35	P.212
教 育 講 演	P.36	—
Scientific Engagement Satellite Symposia	P.38	P.213
共 催 シ ン ポ ジ ウ ム	P.39	P.214
共 催 セ ミ ナ ー	P.42	P.220

総会・評議員会

■日時：11月27日（金）9：05～9：45

■配信：ライブ1

■議長：学術集会・総会会長

※総会・評議員会およびシミック賞・ECC奨励賞の授賞式ならびにECC奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加は学会員に限ります。

第17回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：11月27日（金）9：55～10：15

■配信：ライブ1

■座長：松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

プレナリーレクチャー

■日時：11月27日（金）11：05～11：45

■配信：ライブ1／オンデマンド

プレナリー レクチャー1

Tackling inequalities to end
epidemics

座長 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

PL1 Tackling inequalities to end epidemics

Winnie Byanyima

UNAIDS 事務局長

共催：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

※ライブ配信後、オンデマンド配信をいたします。

■日時：11月29日（日）17：50～18：50

■配信：ライブ1

プレナリー レクチャー2

進化と変転を続ける抗HIV薬

座長 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

PL2 進化と変転を続ける抗HIV薬

満屋裕明

国立国際医療研究センター研究所／米国国立癌研究所 NIHレトロウイルス感染症部

会長講演

■日時：11月27日（金）10：25～10：55

■配信：ライブ1

会長講演

進化を続ける抗HIV薬
～Prevention, Treatment,
and Beyond～

座長

俣野哲朗（国立感染症研究所 エイズ研究センター）

■演者

進化を続ける抗HIV薬 ～Prevention, Treatment, and Beyond～

栗原 健

一般社団法人 日本病院薬剤師会

特別講演

■日時：11月27日（金）11：45～12：15

■配信：ライブ1／オンデマンド

特別講演 1

Fast-Track Cities: Making
the Case for Japan's
Engagement

座長

岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治
療・研究開発センター）

■演者

SL1 Fast-Track Cities: Making the Case for Japan's Engagement

Dr. José M. Zuniga

President/CEO, International Association of Providers of AIDS Care, Washington, DC, USA/
President/CEO, Fast-Track Cities Institute, Washington, DC, USA

共催：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

※ライブ配信後、オンデマンド配信をいたします。

■日時：11月27日（金）12：15～13：15

■配信：ライブ1／オンデマンド

特別講演 2

HIV and regulation:
Landscape of HIV products
in Europe

座長

栞原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

SL2 HIV and regulation: Landscape of HIV products in Europe

Maribel Gonzalez Tome

MD, PhD, Scientific Medical Officer European Medicines Agency (EMA)

※ライブ配信後、オンデマンド配信をいたします。

■日時：11月29日（日）9：00～9：50

■配信：ライブ1／オンデマンド

特別講演 3

HIV 感染症が日本の新薬承認審
査に与えたインパクト

座長

栞原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

SL3 HIV 感染症が日本の新薬承認審査に与えたインパクト

森 和彦

日本製薬工業協会

※ライブ配信後、オンデマンド配信をいたします。

日本エイズ学会シンポジウム

- 日時：会期中
- 配信：オンデマンド

日本エイズ学会 シンポジウム

次世代のエイズ対策推進に向けた取り組みとは？（エイズ予防指針に基づく対策の推進シンポジウム）

座長 松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

AS-1 次世代のエイズ対策推進に向けた取り組みとは？

松下修三
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

AS-3 臨床分野におけるエイズ予防指針の課題－早期治療を阻む要因の検討－

塚田訓久
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

AS-2 基礎分野におけるエイズ予防指針の課題：HIVゲノム・ヒトゲノムの研究のHIV予防への応用の有用性とその課題

椎野禎一郎
国立感染症研究所 品質保証・管理部

AS-4 社会分野におけるエイズ予防指針の課題－予防啓発普及の変容と展望－

塩野徳史
大阪青山大学 健康科学部看護学科

日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム

- 日時：会期中
- 配信：オンデマンド

日本性感染症学会と 日本エイズ学会の 合同シンポジウム (臨C)

身近な性感染症とその治療薬

座長 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

JS-1 本邦における梅毒治療

西島 健
世界保健機関西太平洋地域事務局

JS-3 直腸性感染症の診断と治療

水島大輔
国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

JS-2 尿道炎の診断と治療

和田耕一郎
岡山大学病院 泌尿器科

JS-4 性感染症に用いる薬剤

大石裕樹
国立病院機構九州医療センター 薬剤部・免疫感染症科・臨床研究センター

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：11月29日（日）16：05～17：35

■配信：ライブ1

治療の手引き （臨C） 認定講習会 （医師・看護師）

HIV感染症とAIDSの治療の手 引き

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所／米
国国立癌研究所 NIHレトロウイルス
感染症部）
白阪琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療セ
ンター HIV/AIDS先端医療開発セ
ンター）
岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治
療・研究開発センター）

■演者

- 1 What's New
白阪琢磨
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター
- 2 HIV感染症は、COVID-19に影響を与えるか？
岡 慎一
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 3 HIV患者におけるCOVID-19肺炎
～胸部CTによるニューモシスチス肺炎との鑑別は容易か～
照屋勝治
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 4 AIDS治療薬開発からCOVID-19治療薬開発へ
満屋裕明
国立国際医療研究センター研究所／米国国立癌研究所 NIHレトロウイルス感染症部

★なお本セッションは日本エイズ学会の医師認定制度ならびに日本エイズ学会認定HIV感染症看護師・HIV感染症指導看護師制度における学会教育プログラムです。

シンポジウム

■日時：11月27日（金）18：30～20：30

■配信：ライブ2

シンポジウム 1 （臨C・社S）

U=Uをめぐる陽性者とHIV予防対策と医療者のあり方について

座長

井上洋士（順天堂大学大学院 医療看護学研究科）
大北全俊（東北大学大学院 医学系研究科）

■演者

SY1-1 U=Uを陽性者に伝える、社会に伝えることについて
白阪琢磨
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS
先端医療開発センター

SY1-2 医師は感染リスク「ゼロ」というべきか
照屋勝治
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY1-3 HIV感染者に対する不妊治療
久慈直昭
東京医科大学 産科婦人科学

SY1-4 MSM予防対策を担う立場からU=Uについて
金子典代
名古屋市立大学 看護学研究科国際保健看護学

SY1-5 私たちHIV陽性者にとってU=Uとは？
高久陽介
NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 2 （社S）

COVID-19対策においてHIV対策の経験から学べること

座長

井上洋士（順天堂大学大学院 医療看護学研究科）

■演者

SY2-1 イントロダクション
井上洋士
順天堂大学大学院 医療看護学研究科

SY2-2 ツインパンデミック時代の傾向と対策（シンポ2 HIV感染拡大の対応と経験からCOVID-19対策において何を学ぶべきか）
宮田一雄
ジャーナリスト

SY2-3 HIV感染対策から学ぶCOVID-19対策
岩室紳也
ヘルスプロモーション推進センター

SY2-4 HIVコミュニティからの「新型コロナウイルス感染症に対する要望書」アクションの紹介
岩橋恒太
特定非営利活動法人 akta

SY2-5 COVID-19流行下で見えてきたこと一不確かさ、不安と向き合う
土屋菜歩
やまと在宅診療所登米／国立大学法人東北大学 個別化予防・疫学分野

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム3 (臨C)	抗HIV薬の安全使用と Drug Information (DI)	座長	菊池 嘉 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター) 井門敬子 (愛媛大学医学部附属病院 薬剤部)
-----------------	--------------------------------------	----	---

■演者

SY3-1	添付文書・インタビューフォーム改訂 の実際と臨床現場での利活用 富田隆志 広島大学病院 薬剤部	SY3-4	抗HIV薬の安全対策と薬剤情報 込山則行 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医薬品安全対策第二部
SY3-2	医療現場におけるRMP利活用と安全 使用推進 林 昌洋 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 薬剤部・治験臨床研究部	SY3-5	HIVとともに生きる皆さんに必要な HIV感染症治療薬を届けるために不可欠な一製薬会社としての使命 古賀一郎 ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門
SY3-3	RealWorldDataの利活用と今後 高田敦史 九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター		

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム4 (臨C)	Drug-Drug Interactions	オーガナイザー 増田純一 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部) 座長 青木孝弘 (国立国際医療研究センター・エイズ治療・研究開発センター) 矢倉裕輝 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部)
-----------------	------------------------	--

■演者

SY4-1	薬物相互作用の統合的予測 樋坂章博 千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学	SY4-3	HIV診療における薬物相互作用 渡邊 大 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部
SY4-2	医薬品開発での薬物相互作用情報の利用：規制当局の視点から 木島慎一 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 次世代評価手法推進部／新薬審査第四部		

シンポジウム

■日時：11月28日（土）17：00～19：00

■配信：ライブ1

シンポジウム5 （臨C）

症例から学ぶHIV感染症診療の
コツ

オーガナイザー

座長 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）
青木 眞（感染症コンサルタント）
山中 晃（新宿東口クリニック）

■演者・解説者

SY5-1 症例提示及び症例解説

村松 崇

東京医科大学 病院臨床検査医学科

SY5-2 症例提示及び症例解説

塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

■解説者

SY5-3 症例解説

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

★医療関係者限定セッションとなります。

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム6 （臨C・社S）

HIV感染症と薬物使用（依存）
の予防

座長

畝井浩子（広島大学病院 薬剤部）
矢嶋敬史郎（がん・感染症センター都立駒込病
院 感染症科）

■演者

SY6-1 The Current Status of Substance
Use and HIV Prevention in Taiwan

Wei, Han-Ting

Department of Psychiatry, Taipei City Hospital
Linsen Chinese Medicine and Kunming Branch and
Kunming Prevention and Control Center

SY6-3 学校薬剤師と病院薬剤師の連携による
性感染症の予防啓発に関する検討

石井聡一郎

広島大学病院 薬剤部

SY6-2 Understanding and supporting
drug users with HIV infection in
Japan

嶋根卓也

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依
存研究部

SY6-4 性感染症予防啓発を目指した薬剤師に
よる宮城県での活動報告と今後の展望

阿部憲介

国立病院機構仙台医療センター 薬剤部

シンポジウム

■日時：会期中
■配信：オンデマンド

シンポジウム7 (臨C)	進化を続ける抗HIV薬の「剤型」 座長	塚田訓久 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 矢倉裕輝 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部)
-----------------	---------------------	---

■演者

SY7-1	30年前と今の薬の使い勝手の違い ～患者の立場から～ 花井十伍 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権	SY7-4	メディカルシェアハウスにおける高齢・終末期HIV感染者の服薬支援 村串恵子 有限会社安心の絆 メディカルシェアハウス (安心ハウス絆)
SY7-2	30年前と今の薬の使い勝手の違い ～医師の立場から～ 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター	SY7-5	HIV感染患者の服薬アドヒアランス向上を目指した製剤開発の展望 並木徳之 静岡県立大学 薬学部
SY7-3	持効性注射剤の特徴 ～精神疾患領域での使用経験から～ 築地茉莉子 千葉大学医学部附属病院 薬剤部		

■日時：会期中
■配信：オンデマンド

シンポジウム8 (基B・臨C・社S)	HIV/AIDSに関連した医薬品の承認審査とその影響 ―未来に向けた提言― 座長	潟永博之 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 栗原 健 (一般社団法人 日本病院薬剤師会)
-----------------------	--	---

■演者

SY8-1	HIV/AIDSに関連した医薬品の承認審査について ―医師の立場から― 白阪琢磨 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター	SY8-3	ドルテグラビルの欧米での迅速承認を目指した臨床開発 ―企業の立場から― 藤原民雄 元塩野義製薬 (株) HIV Integrase Inhibitor Global Project Leader
SY8-2	HIV/AIDSに関連した医薬品の治験・承認審査がどう変わったか 森 和彦 日本製薬工業協会	SY8-4	HIV/AIDSに関連した医療品の承認審査について ―患者の立場から― 花井十伍 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム9 (臨C)

HIV感染症と保険薬局薬剤師
～患者支援のための様々な工夫
と取り組み～

座長

戸矢崎信也（株式会社カムシティ 戸山薬局）
小川和彦（一般財団法人 緑風会 緑風会薬局）

■演者

SY9-1 当局における患者支援のための取り組みと病院との連携

小川和彦

一般財団法人 緑風会 緑風会薬局

SY9-3 HIV感染症と保険薬局薬剤師 ～患者支援のための様々な工夫と取り組み～

島田淳史

スエヤス調剤薬局 文京店

SY9-2 院外処方時に直面する課題

迫田直樹

法円坂薬局

SY9-4 抗HIV薬処方箋応需における保険薬局の役割

田橋美佳

薬樹薬局 ミツ沢

■日時：11月28日（土）17：30～19：00

■配信：ライブ2

シンポジウム10 (基B)

HIV学術研究の今「ウイルスと
宿主とのせめぎ合いから」(複製
および病原性)

オーガナイザー

武内寛明（東京医科歯科大学 医歯学総合研究科
ウイルス制御学）

座長

宮川 敬（横浜市立大学 医学部 微生物学）
鈴 伸也（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）

■演者

SY10-1 ゲノム編集技術とVif変異体を用いた
内在性APOBEC3ファミリータンパ
ク質の抗HIV-1活性の解析

池田輝政^{1,2,3}、檜原知里¹、
Carpenter Michael^{2,3}、Cheng Adam²、
Brown William²、Harris Reuben^{2,3}

¹熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子
ウイルス・遺伝学分野、²Department of Biochemistry,
Molecular Biology, and Biophysics, Institute for
Molecular Virology, Center for Genome Engineering,
Masonic Cancer Center, University of Minnesota、
³Howard Hughes Medical Institute, University of
Minnesota

SY10-3 ウイルスと宿主の進化的攻防：エイズ
ウイルス vs 人類

佐藤 佳¹、瓜生慧也¹、清水聡真²、小杉優介²、
小柳義夫²

¹東京大学医科学研究所、²京都大学ウイルス・再生医科学
研究所

SY10-4 ウイルスー宿主間相互作用に基づいた
HIV-1 サル感染モデルの開発

齊藤 暁

宮崎大学 農学部 獣医学科 獣医微生物学研究室

SY10-2 ウイルスの宿主適応メカニズム：宿主
防御機構とのせめぎ合いと攻略能獲得
まで

芳田 剛、Yao Weitong、橋本紗希、
武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学
分野

シンポジウム

■日時：11月27日（金）17：10～18：40

■配信：ライブ1

シンポジウム 11 (基B)	HIV 機能的治療に向けた取り組みの現状	座長	前田賢次（国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部）
			佐藤賢文（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

SY11-1 【潜伏HIVリザーバー維持メカニズム】
感染細胞レベルからその要因を解く
～リザーバー特異的排除戦略による
HIV寛解をめざして～

武内寛明

東京医科歯科大学 歯科学総合研究科 ウイルス制御学

SY11-2 サルエイズモデルにおける組織リザー
バー解析

野村拓志

国立感染症研究所 エイズ研究センター

SY11-3 HIVリザーバーの除去または不活化を
目指した新規治療法開発

藤田美歌子

熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム生
体機能化学共同研究講座

SY11-4 SIV慢性感染期抗ウイルス薬治療下カ
ニクイザルを用いた免疫学的マルチオ
ミクス解析

山本拓也

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老
化プロジェクト

■日時：11月27日（金）19：00～20：30

■配信：ライブ1

シンポジウム 12 (基B)	新しいARTに向けた創薬基礎 研究の進展状況	座長	玉村啓和（東京医科歯科大学 生体材料工学研究 所）
			吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

SY12-1 HIVアクセサリータンパク質を標的と
した新規治療法開発

岩谷靖雅

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研
究センター

SY12-3 HIV感染症の根治に向けて：霊長類モ
デルの意義

鷲崎彩夏¹、明里宏文^{1,2}

¹京都大学 霊長類研究所、²京都大学 ウイルス・再生医
科学研究所

SY12-2 熊本大学有用天然物ライブラリーを活
用したHIV潜伏感染細胞の再活性化

三隅将吾

熊本大学大学院 生命科学研究部附属 グローバル天然
物科学研究センター 環境分子保健学分野

SY12-4 HIV侵入阻害剤の開発

原田恵嘉

国立感染症研究所 エイズ研究センター

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 13 (臨C・社S)	HIV 情報提供とヘルスリテラシー	座長 井上洋士 (順天堂大学大学院 医療看護学研究科) 戸ヶ里泰典 (放送大学)
------------------------------------	--------------------------	--

■演者

SY13-1 ヘルスリテラシーの理論について 戸ヶ里泰典 放送大学	SY13-4 HIV セルフマネジメント支援とヘルスリテラシー 平山江美 東京女子医科大学病院 看護部
SY13-2 日本のHIV陽性者におけるヘルスリテラシーの現状 米倉佑貴 聖路加国際大学	SY13-5 HIV 予防とヘルスリテラシー 塩野徳史 大阪青山大学 健康科学部看護学科
SY13-3 HIV 陽性者のヘルスリテラシーと医師 塚田訓久 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター	SY13-6 HIV 陽性者のヘルスリテラシーをめぐる課題と向上策 高久陽介 NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 14 (社S)	Strategic communication with the public –性と健康に関する情報発信のあり方–	座長 田沼順子 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 高久陽介 (NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)
---------------------------------	---	--

■演者

SY14-1 London NHSのHIV検査キャンペーン Paul Steinberg Do It London (NHSの予防啓発キャンペーン)	SY14-3 ピルコンの活動について 染矢明日香 NPO 法人ピルコン
SY14-2 PRIDE HOUSE 東京について 松中 権 PRIDE HOUSE 東京／特定非営利活動法人グッド・エイジング・エールズ	

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 15 (社S)

薬害HIV感染被害者の長期療養
課題を、医療福祉をつなぐ実践
で解決する

オーガナイザー

座長 武田飛呂城 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)
柿沼章子 (社会福祉法人はばたき福祉事業団)
田沼順子 (国立研究開発法人 国立国際医療研究
センター エイズ治療・研究開発セン
ター)

■演者

SY15-1 薬害HIV被害者の現状

武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

SY15-2 薬害HIV被害者の医療面の課題

潟永博之

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ
治療・研究開発センター

SY15-3 薬害HIV被害者の課題解決のための医 療福祉連携 (CNの立場から)

大金美和

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ
治療・研究開発センター

SY15-4 薬害HIV被害者の課題解決のための医 療福祉連携 (MSWの立場から)

ソルダノあかね

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ
治療・研究開発センター

SY15-5 血液製剤によるHIV/HCV重複感染患 者の肝移植に関する研究

江口 晋

長崎大学大学院 移植・消化器外科

SY15-6 薬害HIV被害者が肝移植を希望するま での変化について

織田裕子

旭川医科大学病院

SY15-7 今後の薬害HIV被害者の長期療養の展 望

柿沼章子

社会福祉法人はばたき福祉事業団

シンポジウム

■日時：11月27日（金）15：10～16：40

■配信：ライブ1／オンデマンド

シンポジウム 16 (社S)

薬害エイズ被害者遺族相談事業
当事者による遺族ケアの実践
—その可能性と不可能性

座長

花井十伍（特定非営利活動法人ネットワーク医療
と人権）
矢永由里子（西南学院大学）

■演者

SY16-1 薬害エイズ訴訟と遺族相談事業

花井十伍

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY16-4 私たちにとってのピアサポート

遺族相談員 四名

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY16-2 “遺された人々”の悲嘆と回生

大西赤人

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

SY16-5 専門家相談員より：遺族相談員による
ピアサポートについて

古谷野淳子

松浜病院

SY16-3 グリーフケア専門医からみた薬害エイズ遺族

村上典子

神戸赤十字病院 心療内科

SY16-6 専門家相談員より：長期に相談事業に
関わった経験について

矢永由里子

西南学院大学

※ライブ配信後、オンデマンド配信（学会会員限定）をいたします。

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 17 (社S)

HIV陽性者の生活の質（QOL）
は何か変わり何が変わっていないのか～調査研究成果から探求
する～

座長

生島 嗣（ぶれいす東京）

■演者

SY17-1 HIV Futures Japanプロジェクトの3
回にわたるウェブ調査結果から見た
HIV陽性者のQOLの推移

井上洋士

順天堂大学大学院 医療看護学研究科

SY17-3 HIV陽性者のQOLに影響をおよぼす
ものとは ～国際陽性者調査より～

笹井明日香

ヴィーブヘルスケア株式会社 渉外・医療政策・患者支援

SY17-2 17年間の変化にみる全国HIV陽性者
のQOL —「HIV陽性者の健康と生活
に関する全国調査」の結果から

若林チヒロ

公立大学法人埼玉県立大学 健康開発学科 健康行動科
学専攻

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 18 (臨C・社S)

日本におけるハームリダクション
の実践の可能性—HIV感染と
薬物使用についての学際的討議

座長

樽井正義 (ぶれいす東京)
徐 淑子 (新潟県立看護大学)

■演者

SY18-1 ハームリダクションとは：その基本概
念と諸外国におけるハームリダクショ
ンの展開 (シンポジウム主旨説明)

徐 淑子¹、樽井正義²

¹新潟県立看護大学、²ぶれいす東京

SY18-4 依存症臨床からみたハームリダクショ
ンの意義

松本俊彦

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬
物依存研究部

SY18-2 行動・疫学調査からみる日本のHIV流
行と薬物使用

山口正純

武南病院

SY18-5 司法面からみたハームリダクション—
現行の法制度内で何が可能か

石塚伸一

龍谷大学 法学部

SY18-3 日本の薬物使用者の支援ニーズ—
Drug OK Talkの実践より

古藤吾郎

日本薬物政策アドボカシーネットワーク

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 19 (臨C) 認定講習会 (看護師)

HIV感染症看護の支援に役立て
る他領域看護の視点

座長

島田 恵 (東京都立大学大学院 人間健康科学研
究科 看護科学域)
大金美和 (国立研究開発法人国立国際医療研究セ
ンター エイズ治療・研究開発セン
ター)

■演者

SY19-1 退院支援看護師の立場から
～医療の中の生活視点を考える～

高橋由利子

国家公務員共済組合連合会九段坂病院 地域医療連携部

SY19-3 HIVコーディネーターナースの立場か
ら～困難事例への取り組み～

杉野祐子

国立国際医療研究センター病院

SY19-2 慢性心不全患者の経過を支えるには
—再入院させない外来での取り組み—

辻井由紀

地方独立行政法人たつの市民病院機構たつの市民病院
地域連携室

★本セッションは日本エイズ学会のHIV感染症看護師・HIV感染症指導看護師制度における学会教育
研修プログラムです。

シンポジウム

■日時：11月27日（金）13：25～14：55

■配信：ライブ1

シンポジウム 20 (臨C)	HIV陽性者における肛門管癌の 早期発見と治療戦略	座長	重原一慶（金沢大学 医薬保健学総合研究科 泌尿器科） 井戸田一朗（しらかば診療所）
-------------------	------------------------------	----	--

■演者

SY20-1 HIV陽性者における肛門管癌の早期発見と治療戦略
井戸田一朗¹、重原一慶²、大河戸光章³、
八重樫洋²、北村 浩^{4,5}
¹しらかば診療所、²金沢大学 医薬保健学総合研究科 泌尿器科、³杏林大学 保健学部臨床検査技術学科、⁴えんじゅ内科クリニック、⁵杏林大学 腫瘍内科

SY20-2 HIV陽性MSMにおける肛門擦過細胞診とHuman papillomavirus検査
大河戸光章¹、岡山香里²、北村 浩^{3,5}、
井戸田一朗⁴
¹杏林大学 保健学部臨床検査技術学科、²群馬パース大学 保健科学部検査技術学科、³えんじゅ内科クリニック、⁴しらかば診療所、⁵杏林大学 腫瘍内科

SY20-3 日本のMSMにおけるHPV感染及び異形成の実態
八重樫洋
金沢大学 医薬保健学総合研究科 泌尿器科

SY20-4 肛門管上皮内腫瘍（AIN）の早期発見と治療の経験
北村 浩
えんじゅ内科クリニック／杏林大学 腫瘍内科

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 21 (臨C・社S)	日本におけるPrEPの現状および 将来像（民間および地方での展 開を中心に）	座長	生島 嗣（ぶれいす東京） 水島大輔（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）
----------------------	--	----	--

■演者

SY21-1 パーソナルヘルスクリニックにおけるPrEPの取り組みと将来的展望
塩尻大輔
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター／パーソナルヘルスクリニック

SY21-2 東京都南新宿検査・相談室利用者のPrEP関係の相談状況
城所敏英
東京都南新宿検査・相談室

SY21-3 千葉大学におけるMSMコホートの取り組み
谷口俊文
千葉大学医学部附属病院 感染症内科

シンポジウム

■日時：会期中
■配信：オンデマンド

シンポジウム 22 (臨 C)	新規抗HIV薬をどのように使い分けるか	座長 谷口俊文 (千葉大学医学部附属病院 感染症内科) 内藤俊夫 (順天堂大学 医学部・大学院医学研究科／順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科)
---------------------------	---------------------	---

■演者

SY22-1 「3⇒3と3⇒2、それから2⇒」～DTG/3TCによる2剤併用療法のポジショニング 平井由児 東京医科大学八王子医療センター 感染症科	SY22-4 CAB/RPVなど注射製剤の将来的なポジショニングについて 渡邊 大 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部
SY22-2 ドラビリンなどNNRTIのポジショニングについて 村松 崇 東京医科大学病院 臨床検査医学科	SY22-5 3剤併用療法におけるインテグラーゼ阻害薬の使い分け 照屋勝治 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
SY22-3 ダルナビルなどプロテアーゼ阻害薬のポジショニングについて 吉村幸浩 横浜国立大学市民病院 感染症内科	

■日時：11月29日(日) 12:05～13:35
■配信：ライブ1

シンポジウム 23 (基 B)	HIV 学術研究の今「感染免疫学の視点から」(中和・非中和抗体の役割、細胞性免疫、CAR-Tの有効性等々)	オーガナイザー 武内寛明 (東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学) 俣野哲朗 (国立感染症研究所 エイズ研究センター) 座長 上野貴将 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)
---------------------------	---	--

■演者

SY23-1 サルエイズモデルにおける抗原特異的T細胞反応動態の解析と効果的なHIVワクチン開発への応用 石井 洋 国立感染症研究所 エイズ研究センター	SY23-3 ナイーブT細胞からの conserved/プロテクティブエピトープ特異的CTLの誘導 久世 望^{1,2}、赤星智寛²、滝口雅文^{1,2} ¹熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター、²熊本大学エイズ学研究センター
SY23-2 霊長類エイズモデルにおける抗CD20抗体およびCAR-T細胞(キメラ抗原受容体T細胞)を用いたB細胞枯渇療法のエイズウイルス抑制効果 深澤嘉伯 Vaccine & Gene Therapy Institute, Oregon National Primate Research Center, Oregon Health & Science University	SY23-4 ウイルス免疫学 & 免疫ウイルス学 俣野哲朗 国立感染症研究所 エイズ研究センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

シンポジウム

- 日時：会期中
- 配信：オンデマンド

シンポジウム 24 (臨 C)	COVID-19とHIV診療	オーガナイザー 潟永博之 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)
--------------------	----------------	--

■演者

SY24-1 市中病院におけるCOVID-19とHIV診療の両立について
立川夏夫
横浜市立市民病院 感染症内科

SY24-3 HIV感染症診療におけるCOVID-19感染症対策
増田純一
国立国際医療研究センター病院 薬剤部

SY24-2 新型コロナ重点医療機関の役割とHIV診療への影響
谷口俊文
千葉大学医学部附属病院 感染症内科

SY24-4 新型コロナウイルス感染症流行下における抗HIV薬処方についての地方中核拠点病院の対応
井門敬子
愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

- 日時：会期中
- 配信：オンデマンド

シンポジウム 25 (臨 C)	ウイルス感染における唾液を用いた検査の有用性の検討	座長 前田憲昭 (医療法人社団 皓歯会) 加藤眞吾 (株式会社ハナ・メディテック) 栗原 健 (一般社団法人 日本病院薬剤師会)
--------------------	---------------------------	---

■演者

SY25-1 COVID-19診断における唾液検査
豊嶋崇徳
北海道大学 血液内科

SY25-3 抗HIV薬の唾液中薬剤濃度測定 of 臨床意義と実現可能性
山田瑛子
新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野

SY25-2 口腔とウイルス
前田憲昭
医療法人社団 皓歯会

SY25-4 口腔細菌のウイルス感染症促進作用ーHIV再活性化とCOVID-19に及ぼす影響を中心にー
今井健一
日本大学 歯学部 細菌学講座/生体防御医学研究所 生体防御部門

シンポジウム

■日時：11月28日（土）10：40～12：10

■配信：ライブ2

シンポジウム 26 （臨C）

HIV/AIDS領域における企業の
情報提供活動の変遷と今後のあ
り方を考える

座長

加納光裕（鳥居薬品株式会社）
栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

SY26-1

福西左知

元ヴィーブヘルスケア株式会社

SY26-3

今坂一道

ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカルアフェアーズ
部門

SY26-2

平原国博

ギリアド・サイエンシズ株式会社 HIV事業本部HIVマー
ケティング部

SY26-4

渡邊泰子

ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアー
ズ統括部 HIV領域

■ディスカッション登壇者

潟永博之（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

矢倉裕輝（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部）

江野英夫（厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課 監視指導室）

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 27 （基B）

開発中のHIV感染症治療薬とそ
の先

オーガナイザー

栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

SY27-1

ViiV HealthcareのHIV感染症への取
り組み

Michael Aboud

Global Franchise Medical Head, ViiV Healthcare

SY27-3

Islatravir (ISL, MK-8591) the first
nucleoside reverse transcriptase
translocation inhibitor (NRTTI) in
development for the treatment
and prevention of HIV-1

Carey Hwang

Merck & Co., Inc., Kenilworth, New Jersey, United
States

SY27-2

Development of Lenacapavir, a
first-in-class long acting HIV
capsid inhibitor

Martin Rhee

Executive Director, Clinical Research, Gilead
Sciences Inc.

シンポジウム

■日時：会期中

■配信：オンデマンド

シンポジウム 28 (社S)	どのようにしてHIV医療体制が つくられたのか	オーガナイザー 武田飛呂城 (社会福祉法人はばたき福祉事業団) 座長 江浪武志 (厚生労働省 健康局 結核感染症課) 井上洋士 (順天堂大学大学院 医療看護学研究 科)
---------------------------	------------------------------------	--

■演者

SY28-1 生きるための訴訟 ー原告が求めた医療ー 保田行雄 新大塚いずみ法律事務所	SY28-4 和解がもたらした、日本のHIV医療へ の恩恵 岡 慎一 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン ター
SY28-2 HIV医療体制のために、原告が求めた ことと国が約束したこと 石谷 勉 石谷法律事務所	SY28-5 身体障害者手帳がHIVに導入されるよ うになった医療的・福祉的・社会的経 緯と意義 大平勝美 社会福祉法人はばたき福祉事業団
SY28-3 HIVコーディネーターナース制度の創 設と活用 石原美和 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	

ワークショップ

■日時：12月上旬～12月25日（金）

■配信：オンデマンド

ワークショップ
(臨C)
認定講習会
(医師)

日和見疾患 update

オーガナイザー

座長 村松 崇 (東京医科大学病院 臨床検査医学科)
味澤 篤 (東京都保健医療公社)
照屋勝治 (国立国際医療研究センター エイズ治
療・研究開発センター)

■演者

WSD1 輸入真菌症

今村淳治

独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター

WSD3 結核

永井英明

国立病院機構東京病院 呼吸器センター

WSD2 カポジ肉腫およびHHV-8関連疾患の
診療マネジメント

矢嶋敬史郎

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

★本セッションは日本エイズ学会の医師認定制度における学会教育研修プログラムです。

メモリアルサービス

■日時：11月29日（日）11：15～11：45

■配信：ライブ2

メモリアル
サービス

第10回 世界エイズデー・メモリアル・サービス

■企画者：有志

■内 容：メモリアル・キルトのスライドショーや遺族の方からのメッセージ、陽性者からのメッセージ、HIV/AIDS医療や支援にかかわっている人たちからのメッセージ。
追悼や祈り、歌をささげる。
candle vigils（ともしび）、瞑想など。
参加者のこころの声に各自が静かに耳を傾け、過去や現在を覚え、これからの私たちの勇気を分かち合う。

日本エイズ学会認定講習会

認定講習会一覧

日時	配信	セッション名	テーマ
12月上旬～ 12月25日（金）	オンデマンド	日本エイズ学会認定講習会 （医師）	ワークショップ 「日和見感染症アップデート」
11月27日（金）～ 12月25日（金）	オンデマンド	日本エイズ学会認定講習会 （看護師）	シンポジウム19 「HIV感染症看護の支援に役立てる他領域 看護の視点」
11月29日（日） 16：05～17：35	ライブ1	日本エイズ学会認定講習会 （医師・看護師）	シンポジウム 「HIV感染症治療の手引き」

HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

日時	時間	配信	セッション名	テーマ
11月29日 （日）	12:05～13:35	ライブ2	HIV 感染症指導看護師向け アドバンスト研修	学会認定看護師・指導看護師のコンピテン シーを考える

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

- 日時：会期中
■配信：オンデマンド

目指せ！HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師 ～薬剤師スキルアップ～ （臨C）	座長 畠井浩子（広島大学病院 薬剤部） 吉野宗宏（国立病院機構宇多野病院 薬剤部）
--	--

■演者

TR1	ご挨拶 木平健治 一般社団法人 日本病院薬剤師会	TR4	学会発表（テーマの探し方から準備ま で） 國本雄介 札幌医科大学附属病院
TR2	特別講演 地域の薬局が実践する服薬 アドヒアランス向上 手嶋無限 株式会社 ONEDERS アイビー薬局	TR5	論文を書こう！ 矢倉裕輝 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
TR3	認定薬剤師～症例の書き方～ 増田純一 国立国際医療研究センター病院 薬剤部		

■日時：会期中
■配信：オンデマンド

■演者

基礎・B

KL1	HIVウイルス学 小柳義夫 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所	KL4	ワクチン 山本浩之 国立感染症研究所 エイズ研究センター
KL2	創薬 前田賢次 国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部	KL5	疫学 菊地 正 国立感染症研究所 エイズ研究センター
KL3	薬剤耐性 杉浦 互 国立国際医療研究センター 臨床研究センター長		

臨床・C

KL6	感染症診療の原則 青木 眞 感染症コンサルタント	KL12	服薬支援とアドヒアランス 関根祐介 東京医科大学病院 薬剤部
KL7	抗HIV治療の基礎知識 (検査を含めて) 四本美保子 東京医科大学病院 臨床検査医学科	KL13	HIV感染症患者に対する看護 大金美和 国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
KL8	抗HIV治療の開始時期・薬剤の選択 上平朝子 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科	KL14	免疫再構築症候群・結核・HBV/HCV 合併 上村 悠 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
KL9	治療失敗時の薬剤変更 (薬剤耐性を含めて) 塚田訓久 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター	KL15	日和見感染症 渡邊珠代 石川県立中央病院 免疫感染症科
KL10	抗HIV薬の副作用 石原正志 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部	KL16	新薬、未承認薬 安達英輔 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
KL11	相互作用・薬物動態 平野 淳 名古屋医療センター 薬剤部	KL17	血友病 藤井輝久 広島大学病院 輸血部

KL18 STD
渡辺恒二
 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター

KL20 針刺し事故対応
水島大輔
 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

KL19 妊婦・女性・小児・高齢者に対する診療について
南 留美
 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

KL21 新型コロナウイルス感染症の感染対策
石金正裕
 国立国際医療研究センター 総合感染症科

社会・S

KL22 社会福祉制度とは？HIV では何を利用できるのか？
岡本 学
 国立病院機構 大阪医療センター 医療相談室

KL26 ヘルスコミュニケーションとは何か
石川ひろの
 帝京大学大学院 公衆衛生学

KL23 医療のなかで心理職・心理カウンセラーを活かすには？
小松賢亮
 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター

KL27 日本のHIV医療体制の現在とこの先目指すもの
横幕能行
 国立病院機構 名古屋医療センター 感染症内科

KL24 LGBTQについて正しく知ろう
松中 権
 特定非営利活動法人グッド・エイジング・エールズ

KL28 薬害HIV感染とは何か？なぜ知っておく必要があるのか？
武田飛呂城
 社会福祉法人はばたき福祉事業団

KL25 MSMにおけるHIV予防啓発活動
岩橋恒太
 特定非営利活動法人akta

Scientific Engagement Satellite Symposia

■日時：11月28日（土）13：20～15：50

■配信：ライブ2／オンデマンド

Scientific
Engagement
Satellite
Symposia

「長期を見据えたHIV治療の検討」～慢性疾患としての患者さんのためのこれからの治療～

司会 古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社）

■演者

SESS-1 ガイドラインの位置づけと期待

白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

SESS-2 HIV患者さんにおけるワクチンの重要性

四柳 宏

東京大学医科学研究所先端医療研究センター 感染症分野

SESS-3 これからの医療体制
－中核拠点と地域施設の連携－

横幕能行

国立病院機構 名古屋医療センター 感染症内科

SESS-4 患者さんを含めたチーム医療のあり方
田沼順子

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

※ライブ配信後、オンデマンド配信をいたします。

共催シンポジウム

■日時：11月27日（金）15：10～17：10

■配信：ライブ2

共催 シンポジウム 1

HIV感染症とAging
～HIV感染者のメタボリックシ
ンドローム～

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター 臨床レトロウイルス学
分野）
岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治
療・研究開発センター）

■演者

SS1-1 メタボリックドミノ回避のためのHIV
感染者の生活習慣病管理

南 留美

国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

SS1-3 糖尿病治療の最前線
～発症予防と早期マネジメント～

寺内康夫

横浜市立大学大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科
学

SS1-2 HIV感染者で増加する合併症の現状と
ART選択

横幕能行

国立病院機構 名古屋医療センター エイズ総合診療部

共催：MSD株式会社

■日時：11月28日（土）9：00～10：30

■配信：ライブ2

共催 シンポジウム 2

ペイシェント・サミット「HIV
陽性者のPatient Journeyにお
けるコミュニケーションの課題：
恋愛と性生活」

座長

井上洋士（順天堂大学大学院 医療看護学研究科
特任教授）
高久陽介（NPO法人日本HIV陽性者ネットワ
ーク・ジャンププラス）

■演者

SS2-1

渡邊泰子

ギリアド・サイエンシズ株式会社

SS2-3

上村 悠

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

SS2-2

高島 健

ギリアド・サイエンシズ株式会社

SS2-4

宮城京子

琉球大学病院 HIV担当看護師

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

共催シンポジウム

■日時：11月28日（土）14：40～16：40

■配信：ライブ1

共催 シンポジウム3

NNRTI、その先へ～薬剤師、医師による基礎および臨床データから見た位置づけと可能性～

座長

潟永博之（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）
渡邊 大（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部）

■演者

SS3-1 新規薬剤導入時の服薬支援、薬剤師の役割

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

SS3-3 現代のARTにおけるDoravirine

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：MSD株式会社

SS3-2 新薬をどう使いこなす？基礎データから考える考察のポイント

立川夏夫

横浜市立市民病院 感染症内科

■日時：11月29日（日）9：00～11：00

■配信：ライブ2

共催 シンポジウム4

長期療養時代にあるARTと服薬アドヒアランスの再考

座長

岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 感染免疫内科）

■演者

SS4-1

井上洋士

順天堂大学大学院 医療看護学研究科

■パネリスト

SS4-2

山中 晃

新宿東口クリニック

SS4-3

矢倉裕輝

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

共催：ヤンセンファーマ株式会社

共催シンポジウム

■日時：11月29日（日）13：50～15：20

■配信：ライブ1

共催 シンポジウム5

積み重なるTAFのエビデンス
～TAF containing regimen
の臨床的意義～

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）

■演者

SS5-1 Rationale for FTC/TAF-Based
STRs

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

Martin Rhee

Clinical Research, Gilead Sciences, Inc.

SS5-2 TAFの臨床的意義～耐性・HBVの観点
から～

潟永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

■日時：11月29日（日）13：50～15：50

■配信：ライブ2

共催 シンポジウム6 (ワークショップ)

HIV感染症長期治療時代におけ
る服薬マネージメント

座長

平野 淳（名古屋医療センター 薬剤部）

■演者

SS6-1

共催：ヤンセンファーマ株式会社

遠藤愛樹

山梨県立中央病院 薬剤部

SS6-2

日笠真一

兵庫医科大学病院 薬剤部

共催セミナー

■日時：11月27日（金）12：00～12：50

■配信：ライブ2

共催セミナー1

世界の血友病事情
ーWFHからの報告を踏まえてー

座長 天野景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）

■演者

CS1

共催：CSLベーリング株式会社

西田恭治

国立病院機構大阪医療センター 血友病ケアユニット・
感染症内科 医長

■日時：11月27日（金）13：00～13：50

■配信：ライブ2

共催セミナー2

患者・服薬支援のニューノーマル
～COVID-19流行の教訓を
踏まえて～

座長 横幕能行（国立病院機構 名古屋医療センター
エイズ総合診療部）

■演者

CS2-1

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

阿部憲介

国立病院機構仙台医療センター 薬剤部

CS2-2

渡部恵子

北海道大学病院 HIV診療支援センター

共催セミナー

■日時：11月27日（金）14：00～14：50

■配信：ライブ2

共催セミナー3

HIV合併血友病患者のエイジングケア

座長 山本政弘（九州医療センター）

■演者

CS3 HIV合併血友病患者のエイジングケア

共催：サノフィ株式会社

藤井輝久

広島大学病院 輸血部

■日時：11月27日（金）17：20～18：10

■配信：ライブ2

共催セミナー4

HIV合併血友病患者の課題とエミシズマブへの期待

座長 岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター センター長）

■演者

CS4 HIV合併血友病患者の課題とエミシズマブへの期待

共催：中外製薬株式会社

木内 英

東京医科大学 臨床検査医学分野 主任教授

共催セミナー

■日時：11月28日（土）9：00～9：50

■配信：ライブ1

共催セミナー5

長期療養時代におけるダルナビ
ルの臨床的意義

座長

立川夏夫（横浜市立市民病院 感染症内科）
岡 慎一（国立国際医療研究センター病院）

■演者

CS5-1

共催：ヤンセンファーマ株式会社

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院 感染症内科

CS5-2

遠藤知之

北海道大学

■日時：11月28日（土）10：05～10：55

■配信：ライブ1

共催セミナー6

新規抗HIV薬 ピフェルトロ[®]
の抗HIV治療における位置づけ
を考える ～薬剤師・医師のそれ
ぞれの視点から～

座長

白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター 臨床
研究センター）

■演者

CS6-1

共催：MSD 株式会社

平野 淳

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部

CS6-2

照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

共催セミナー

■日時：11月28日（土）11：10～12：00

■配信：ライブ1

共催セミナー7

2剤療法（DTG/3TC）のこれからをHIVの歴史から紐解く

座長

岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

CS7-1 日本におけるHIVの歴史

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

CS7-2 処方経験から見てくる2剤療法（DTG/3TC）の価値

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院 感染症内科

■日時：11月28日（土）12：30～13：20

■配信：ライブ1

共催セミナー8

With/After COVID-19時代におけるARTのNew Normal

座長

淵永博之（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

CS8-1

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

渡邊 大

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部

CS8-2

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院 感染症内科

共催セミナー

■日時：11月28日（土）13：30～14：20

■配信：ライブ1

共催セミナー9

HIV/AIDS領域におけるジェネリック医薬品の役割～求められる医療費抑制とジェネリック医薬品への期待～

座長 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）

■演者

CS9-1

共催：共和薬品工業株式会社

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長

CS9-2

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

■日時：11月28日（土）16：10～17：00

■配信：ライブ2

共催セミナー10

血液凝固因子製剤投与に伴う凝固因子活性の動態把握の意義と薬剤師の役割

座長 藤井輝久（広島大学病院 輸血部）

■演者

CS10

共催：武田薬品工業株式会社

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

共催セミナー

■日時：11月29日（日）10：00～10：50

■配信：ライブ1

共催セミナー11

HIV治療における2剤療法
(DTG/3TC)の臨床的意義

座長

古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社 メディ
カル・アフェアーズ部門）

■演者

CS11-1 新たな時代に求められる治療とは
～長期管理の観点から～

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

南 留美

国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

CS11-2 2剤治療（DTG/3TC）のHIV治療に
おける位置づけを考える ～GEMINI
studyとTANGO studyの結果を踏
まえて～

照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

■日時：11月29日（日）11：00～11：50

■配信：ライブ1

共催セミナー12

抗HIV薬の忍容性と将来性を見
据えたレジメンマネジメント
ーリルピビリン／オデフシの
可能性ー

座長

白阪琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療セ
ンター HIV/AIDS先端医療開発セ
ンター）

■演者

CS12-1

共催：ヤンセンファーマ株式会社

関谷綾子

東京医科大学

CS12-2

矢倉裕輝

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤部